

Comos Project3 (ComosTextEditor) の機能と操作方法

「はじめに」

ComosProject (CPJ) は、JATET より提供されている調光データ共通規格である「COMOS」のテキスト形式によるファイル入出力機能を利用し、データの確認や作成を使い易くしたツールです。

また今回、JATET が新たに規格化した、演出用調光装置の共通データ規格「JASCII」形式にも対応し、さらに使い易くなりました。その他、csv 形式や ASCII 形式のデータ変換にも利用できます。

「動作環境と注意」

ComosProject (CPJ) は、Windows 95・98・98Me で動作します。

COMOS データに変換する場合は、JATET より提供する「COMOS」ソフトとそのソフトが動作する(旧)NEC 98タイプのパソコンが必要です。

「ComosProject (CPJ) の起動方法と削除」

Windows 自体に特別な情報を設定する必要がありませんので、起動は、「ComosProject3」のファイル名をダブルクリックすることで立ち上がります。削除は、「ComosProject3」のファイルを削除するだけです。

「データ入出力の種類」

○入力できる Cue 数は 254 Cue 数

Part 数 10 Part

設定できる Channel 数は 256 Ch / 512 Ch / 768 Ch / 1024 Ch の 4 種類です。

○入力できるデータの種類

- ・このルーツの基本的ファイル： CPJ 用ファイル(拡張子:cpj)
- ・COMOS データをテキスト出力したファイル： COMOS のテキストファイル(拡張子:cms)
- ・Excel などから出力できる csv 形式ファイル： csv のファイル(拡張子:csv)
- ・ETC 社製 Express から出力した ASCII 形式ファイル： ASCII のファイル(拡張子:asc)
- ・新たに規格化された、国内主要メーカーの調光装置に対する統一データ形式 JASCII 形式ファイル：
JASCII のファイル(拡張子:txt)

○出力できるデータの種類

- ・シートに入力した、全てのデータを出力します CPJ の基本： CPJ 基本ファイル(拡張子:cpj)
- ・シートに入力した内容で、COMOS データに必要な Title, Cue, Level 等を出力します：
COMOS のテキストファイル(拡張子:cms)
- ・シートに入力した内容を、csv ファイル形式にして出力します： csv のファイル(拡張子:csv)
- ・シートに入力した内容で ETC 社製 ExpPress が入力できる形式にして出力します：
ASCII ファイル(拡張子:asc)
- ・シートに入力した内容で、JASCII 規格化された Cue, Text, Time, Part, Link 等を出力します：
JASCII ファイル(拡張子:txt)
- ・シートに入力した内容で、Cue Text Time Part Level Part などを Print Out します

「基本構成」

CPJ は、6枚のシート(General・CueData・CueList・MagicSheet・ChenTrack・ChanGroup)を操作する各メニューと関連するダイアログボックスで構成されています。

「データ入力の方法」

関連するダイアログボックスから経由した入力とセルに直接書き込む方法もあります。

セルに入力方法は、一般的な表計算ソフトの操作体系に合わせていますので参考にしてください。

・ Copy ・ Cut ・ Paste ・ 移動 Copy などの操作も同様です。

GeneraSheet、SceneSheet、MagicSheet、ChanSheet のレベル入力方法として、

10より少ない数値は先頭に 0 を入力し二桁表示にしてください (例) 6の場合 06

0はそのまま、一桁表示です (例) 0の場合 0

10の倍数は、通常の入力方法か、一桁入力後 を押すと十倍に変換することも可能です

(例) 60を入力する場合 6 で 60に変換します

FF を入力する場合、半角大文字で入力か で FF に変換します

セル内の文字を右側から修正する場合、修正するセルを選択し を押してください。

(セルが空白の場合、左側に、入力済みは、文字の最後にキャレットします)

「シートの役割と機能」

General: このシートは、CPJ の基本を成すもので、ここに書き込まれたデータを基本に、他の Sheet に表示されます。また、ここに記入された数値が最終的に保存される内容です。Track 編集で Cue と Channel 間との編集ができます。

Cue の文字があるセルをクリックすると先頭にシフトします

設定 Channel 数を表示します

書き込まれた Cue の総数です。タイトルをクリックすると、最後の Cue にシフトします。

Cue 番号が入る行です。クリックで CueDataSheet に切替わります

Title が 4 項目あります

基本 Channel 番号の列です

Time が入るの行です。変更した場合、Enter で CueListSheet に転記します

ユニークな名前を入れる列です

赤文字表示は前の Data より変化したことを示します。黒文字は変化なしです

選択範囲を指定し Cut/Copy/Paste ができます

Sheet 共通でこの Tab をクリックで各 Sheet に切り替わります

Stop Watch

CueDataSheet: Channel 全体を表示し Data 内容の確認やダイアログ Box から簡単に入力できるシートです。REC ボタンで Sheet 内容を GeneralSheet や CueListSheet に転記します。

SetCue に入力した Cue が新規/記録済が表示します

Cue に対する Memo を直接入力かダイアログ Box から転記できます

ボタンクリックで、SetCue の Cue 番号で Sheet の Data を GeneralSheet、CueList に転記します。F12 Key で同様の操作ができます

変更を加えると赤の四角が表示します

編集する Cue を直接入力かダイアログ Box から転記できます

Ch クリックで GeneralSheet に切替わります

Cue の Time を直接入力かダイアログ Box から転記できます

Part のボタンを押すと PartSheet が開きます。PartSheet に Part 設定し水色のバーをクリックで PartSheet が閉じます。Part ボタンが黄色は (記録済) 緑色は (設定時) です。その時に押すと PartSet した Channel を表示し同時に Part 設定した Channel が赤色になります

グレー部分の数値は Channel 番号です。赤は、Part 設定した Channel です

LevelData 表示列で、前の Cue より Level が Up する場合、ベースがオレンジ色 Down する場合、水色 変化しない場合は、白になります。入力は直接かダイアログ Box から転記できます

ボタンクリックで GeneralSheet に記録した Cue が確認できます。選択した Cue を ListBox、SetCue に表示し、同時に Data を Sheet に表示します

PartSheet

MagicSheet:ユニークな名称で、データ確認、入力を可能にし DataSetDlg(入力用)と CueDataSheet 機能を合わせもった Sheet です。

ボタンのクリックで SetCue の Cue 番号で、Sheet の Data を GeneralSheet、CueList に転記します F12 Key で同様の操作が可能です

□ ボタンのクリックで GeneralSheet に記録した Cue が確認できます
 選択した Cue を ListBox、SetCue に表示し、同時に Data を Sheet に表示します

変更を加えると赤の四角が表示します

Setした内容を再Setします

セットした LevelData を全てクリアします

ボタンのクリックで Channel と Level に切り替わり、Channel 時は Channel 番号やユニークな名称をセットし Level 時はセットした Channel の Level を表示します

LevelData 表示で、前の Cue より Level が Up する場合、ベースがオレンジ色に Down する場合、水色 変化しない場合は、白になります。
 また 0 表示で変化しない場合、深緑になります
 入力は直接か ChannelTextBox からできます

仕込み内容を分類し Sheet 分けをします
 Sheet に Set した Channel 番号が CueList ボタンで Cue を進め途中に変化があると黄色表示になります 白表示は、現在選択している Sheet です

Part のボタンを押すと PartSheet が開き Sheet に Part 設定し水色のバーをクリックします。
 Part ボタンが黄色は(記録済) 緑色は(設定時)です その時に押すと PartSet した Channel を表示します

指定した Channel に Level を Set します

指定した Channel に Set する Level 値を入力します

Level 値入力をする Channel を指定します

SetCue に入力した Cue が新規/記録済が表示します

変更を加えると赤の四角が表示します

Setした内容を再Setします

変更を加えると赤の四角が表示します

Cue の Memo を入力します

Cue の Time を入力します

チェックで REC する後に Cue 番号が緑が上がります

編集する Cue 入力します

CueListSheet: CueDataSheet から GeneralSheet に転記された時、CueNumber、Time、Memo、Partを一覧にまとめたシートです。

直接入力で CueNumber の変更や Time、Memo、Part、Link の編集ができます。

* Time/Memo/Link の内容は、この Sheet Data が保存対象になります。

Cue Time Memo を編集し GeneralSheet に転記する場合、クリックしてください

編集でメッセージが表示されます

Cue の列をダブルクリックで CueDataSheet に切り替わり、その内容が表示します

Part の列をクリックで PartSheet が開き、データを表示します。
水色のバーをクリックで内容がセルに入力されます
このデータが Part 内容として保存対象になります。

Link Cue を入力します

CueAnalysis メニューで Cue の Channel 数や変化について表示します
セルをダブルクリックすると、Channel の LevelData を ListUp します

ChannelListSheet: 特定の Channel が各 Cue でどのように変化をしているか確認し(同時に A B 2Channel を見ることができます) LevelData を入力し GenralSheet に転記できます。

編集でメッセージが表示されます

Data を編集し、GeneralSheet に転記する場合、クリックしてください
* (A- Channel のみが対象です)

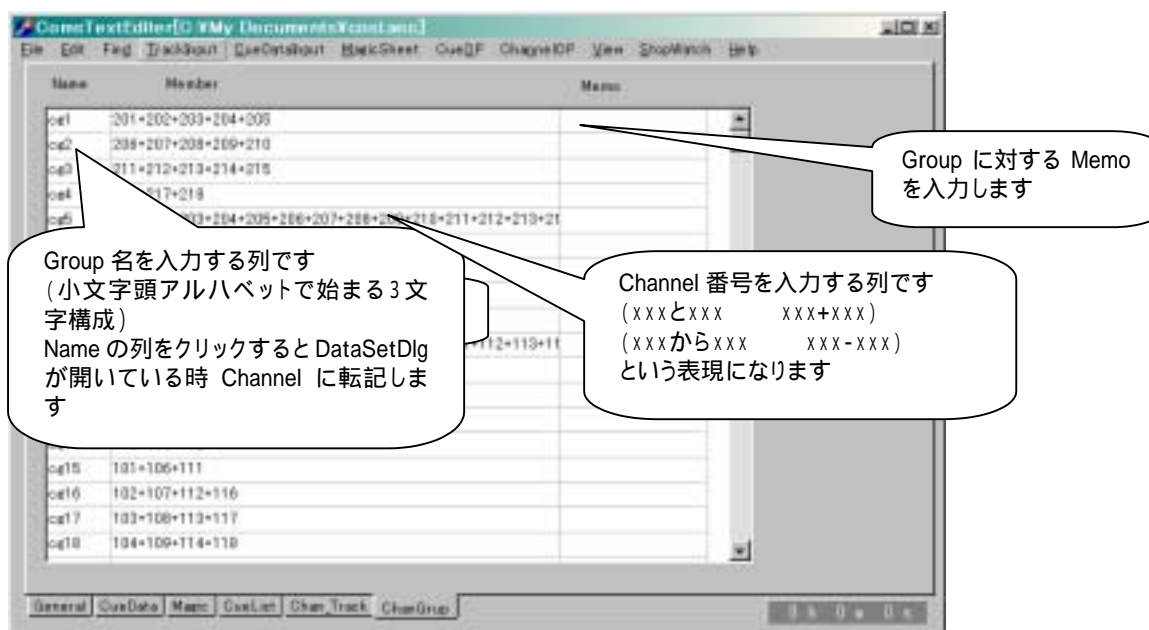
A_Chan に入力した Channel 番号が各 Cue でどのように Level 記録されているか確認出来ます。ピンク表示は前の Cue より変化したデータです

ボタンをクリックすると、Channel 数が繰り上がります。ボタンは逆になります。同時にその Channel が各 Cue でどのように変化しているか Sheet に表示します

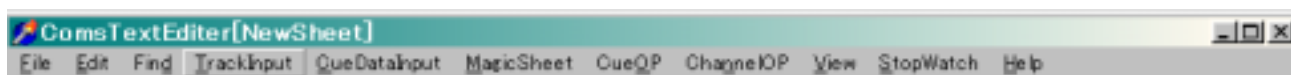
記録された Cue です

注意 Sheet 表示は、Cue の変更(作成、挿入、削除)にリアルタイム反応しません。Sheet 切り替え時が最新の情報で表示されます。

GroupListSheet: 複数の Channel を一つの名前で(文字頭アルハベットで始まる3文字構成)グループ化し Channel 指定ができます。



メインメニューとサブメニューの機能内容



File

- NewSheet ... AllSheet Sheet のデータをすべて消去します。
- Excpet MagicSheet MagicSheetwを除く Sheet のデータを消去します。
- ChannelCount ... 256CH Cannel 数を「256」に切替えます
- 512CH Cannel 数を「512」に切替えます
- 768CH Cannel 数を「768」に切替えます
- 1024CH Cannel 数を「1024」に切替えます。
- Open ... ComosProject : このツールの基本ファイルで保存した内容を読み込みます。(拡張子:c pj)
- Add Cue :現在の Cue に別の Cue を加算します
- Save ... ComosProject : このツールの基本ファイル型で保存します。(拡張子:c pj)
- In_Port ... JASCII (txt): 新規格の JASCII 形式データを読み込みます。(拡張子:txt)
- ComosText_Convert : COMOS Text 型データを読み込みます。(拡張子:cms)
- ASCII (* .asc): ASCII 形式のデータを読み込みます(拡張子:asc)
- Excel (csv) : Excel の csv型データで保存します。(拡張子:csv)
- Express *asc : ETC 社製 Express の Text 形式データを読み込みます(拡張子:asc)

- Out_Port** ... **JAScii (txt)**: 新規格の JAScii 形式データに変換し保存します。(拡張子:txt)
- ComosText_Convert**: Comos Text 型データに変換し保存します。(拡張子:cms)
- AScii (*.asc)**:AScii 形式のデータ形式に変換し保存します。(拡張子:asc)
- Excel(csv)**: Excel の csv 型データに変換し保存します。(拡張子:csv)
- Express *.asc**:ETC 社製 Express の Text 形式データに変換し保存します(拡張子:asc)
- (注意)パッチ Data は初期状態です

JAScii(*.txt) か **AScii (*.asc)** をクリックすると表示します。

Version Number: JAScii(*.txt)は、現在の Version が 1:0 なので
初期設定は JAScii 1:0 と表示します

(注意) Version Number が異なると、調光装置 (JAScii ファイル対応)
で受け付けません

:AScii(*.asc)は、Ident 3:0(USITT 規格 Express で使用し
ていたもの)を表示します

(注意) Version Number が異なると受けません



Manufacturer: 調光装置 (JAScii ファイル対応済)の企業名を List から選択、または入力します。

Console: 主要メーカーの代表する調光装置名を List から選択、または入力します。

Set Channel: 使用している Channel の最大値を表示します

Clear Mode: 調光装置 (JAScii ファイル対応済)に Load するとき、装置内のデータの扱いを選択します。

All: 装置内の全てのデータをクリアします

CUES: Cue 関係するデータのみクリアして、その他はクリアしません

PrintSet: PrintSetDlgが表示されます。

- ・ **Print Cue Area**: 印刷する Cue 範囲の指定ができます。
 - ・ **ChannelArea**:
 - ・ Max: 印刷する Channel 範囲の上限が指定できます。
 - ・ **AreaSelect**:
 - ・ All: 全ての Channel のデータを印刷設定します。
 - ・ Use Only: 使用している Channel のデータを印刷設定します。
 - ・ Data Only: データがある Channel だけ印刷設定します。
 - ・ **Printer**: B/W のチェック On でモノクロ Printer に対応します。
 - ・ **FontSet**: Font 指定ができます。
- (注意) (FontName:MS ゴシック Size:10 か11を指定してください)
- ・ **Print**: PrintDlgが表示されます。



Print: PrintDlgが表示されOk釦で印刷開始になります。

Exit: ComosProjectを終了します。

Edit (マウスの右クリックでも同様のメニューが表示します)

Undo: GeneralSheet、MagicSheet、CueList 上でCut、Copy、Delete、各操作直後、元に戻すことができます。

Cut: GeneralSheet、MagicSheet、CueList 上で選択範囲のデータをCutします。

Copy: GeneralSheet、MagicSheet、CueList 上で選択範囲のデータをCopyします。

Paste: GeneralSheet、MagicSheet、CueList 上でCopyした内容を指定した位置から貼り付けます。

Find: FindDlgが表示します。

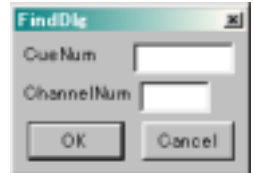
GeneralSheet 上は、CueNum、ChannelNumまたは、二つを指定しOkでGeneralSheet内を検索し一致すると場所が選択状態になります。

MagicSheet では、Sheet 内の最初に一致した Channel を選択します。

PartGrid では、一致した Channel があるセルを選択し、文字位置を表示します。

「Find ダイアログ Box の内容」

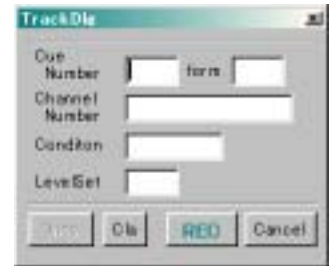
- ・ **CueNum**: 検索したいCue番号を指定します。
- ・ **ChannelNum**: 検索したいChannel番号を指定します。



TrackInput: GeneralSheet上でデータ入力するDlgが表示します。

「TrackInput ダイアログ Box の内容」

- ・ **CueNumber**: GeneralSheetにあるCueで、操作対象のCue範囲を指定します。
- ・ **ChannelNumber**: 指定したCueの範囲で入力対象のChannel番号を指定します。
- ・ **Condition**: 入力する条件を指定できます。空白は無条件で条件として<、>、=が指定できます。
- ・ **LevelSet**: 条件をクリアした場合、指定したCue範囲で且つ指定したChannelに入力されるデータを指定します。



CueDataInput: CueData に Level を入力、GeneralSheet に転記するためのダイアログ Box を表示します

「DataSetダイアログ Box の内容」

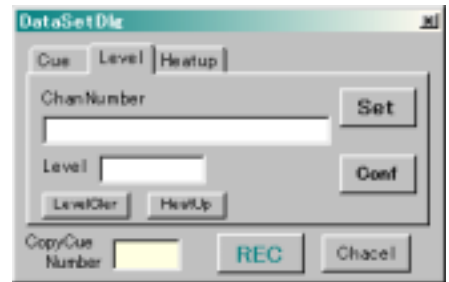
Cue TabSheet

- ・ **CopyCueNumber**: REC の対象になっている Cue 番号です。
- ・ **REC**: CueData の内容を GeneralSheet、CueList に転記し Cue (TabSheet) に切り替わります
- ・ **Cue_Number**: 作成する Cue 番号を入力します。
- ・ **AutoUp**: チェックすると REC 後、自動的に Cue を一つ加算ます
- ・ **Time**: タイム時間を入力します
- ・ **Memo**: Cue に対する Memo を入力します
- ・ **Set**: ボタンをクリックで、ダイアログ Box に入力した内容を CueDataSheet の SetCue、Time、Memo に転記し Level (TabSheet) に切り替わります



Level TabSheet

- ・ **ChanNumber**: Level 入力したい Channel を力します (指定方法は詳細で記載します) **クリック**で EditBox 内の Channel をクリアします
- ・ **Level**: 指定した Channel に入力する Level を入力します (指定方法は詳細で記載します) **クリック**で EditBox 内の Level をクリアします
- ・ **LevelCler**: ボタンをクリックで CueData が空白になります
- ・ **HeatUp**: ボタンをクリックで作成中の前 Cue の Data 値により「ヌスミ」を入力します
- ・ **Set**: ボタンをクリックで CueData に指定した Channel へ Level を転記します
- ・ **Conf**: ボタンをクリックで ChanNumber と Level に入力した内容が確認できます



HeatUp TabSheet

- ・ **Level**: HeatUp ボタンで入力する「ヌスミ」の Level 値を入力します
- ・ **CondetionLevel**: 前の Cue がどの程度の Level であったら HeatUp をかけるかの条件設定です

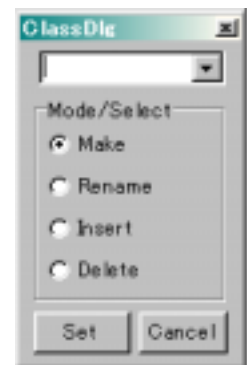


MagicSheet: Cue や ChannelLevel の確認や入力に関する操作をします。

SheetOP: MagicSheet 内に、Sheet を作成、名前の変更、挿入、削除など Sheet を操作するダイアログ Box が表示されます。

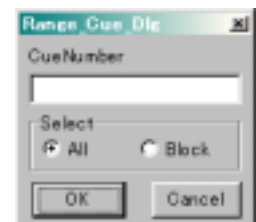
「Class ダイアログ Box の内容」

- ・ **Mode/Select**: 選択ボタンをクリックで 下記の選択ができます
 - ・ **Make**: 新たな Sheet を作成します。
 - ・ **ReName**: Sheet の名前を変更します。
 - ・ **Insert**: Sheet を挿入します ((注意) 現在選択した Sheet の後に挿入します
 - ・ **Delete**: Sheet を削除します



Use Chan ListUp: GenralSheet の指定する Cue の間でデータがある Channel を選び出し Level データ表示ができるように設定する。

- ・ **All**: 最初から最後まで Cue を指定しその間にデータがある Channel を設定する
- ・ **Blok**: 指定した Cue の間にデータがある Channel を設定する



Sheet Data Clear: Sheet に書きこんだ Channel、Memo を全てクリアする

MakeSheet Clear: MagicSheet 上の全ての Sheet をクリアする

CueOP : Cue に関する操作をします。

Ins_Del : Cue の挿入と削除をするダイアログ Box が表示されます。

CueNumber: 挿入または消去する Cue 番号を入力します
(Insert は Cue 番号 + で Cue 番号で複数設定できます)

Select: insert: ボタン選択で Insert モードになります

: Delete: ボタン選択で Delete モードになります

(削除の場合、連続指定も可能です Cue 番号-Cue 番号)

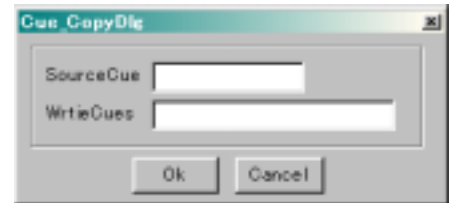


Copy:Cue をコピーするための Dlg が表示されます。

・ SourceCue: コピー元の Cue 番号を入力します

・ WriteCue: コピー先の Cue 番号を入力します

(Cue 番号 + で Cue 番号で複数設定ができます)



Swap : 指定した Cue の Channel データの入替えするためのダイアログ BOX が表示されます。

(Cue 番号は交換しません。Data だけが交換します)

・ Select: Cue: ボタン選択で Cue が Swap 対象となります

...Channel: ボタン選択で Channel が Swap 対象となります

EditBox: Data 交換する Cue または Channel 番号を入力します



CueCompr : Cue と Cue のデータ比較をします

CueAnalysis : CueListSheet が選択されている状態で、Cue の Channel 情報を、Analysis のセルに表示します。チェック状態で、各 Analysis のセルをクリックで Channel の Level を ListUp します。

ChannelOP : Channel に関する操作をします。

NameSort : GeneralSheet の 2 列目に入力した内容に従ってソートします。

... **数字** : 数字を対象にソートします。

... **文字** : ABC 順にソートします。

Common Chan List Up : 指定した Cue 間で指定した Channel がデータ上でコモンができるかどうか (Level 値を比較) 判断し Channel をリストアップします。



(注意) Level データの比較誤差は、+/-5 まで許容しています。一度に判断できる Channel 数は Max125 Channel です。

ChanUse : GeneralSheet で Data がある Channel の、2 列目を Gray 表示します。

NameDownShift : 行を挿入します。GeneralSheet の 1 列、Channel をクリックで、その行は選択されます。この状態で NameDownShift をクリックすると行が挿入され下に、シフトします。

NameUpDelete : 行を削除します。GeneralSheet の 1 列目、Channel をクリックで、その行は選択されます。この状態で NameUpDele をクリックすると行が削除され上に、シフトされます。

NameChanSet : GeneralSheet の 2 列目に、上から順番に Channel 番号を割付けます。

DataSwap : Channel 間のデータを入れ替えるためのダイアログ Box が表示されます。

(CueOP の Swap を参照してください)

View : 画面の表示方法などの設定をします。

CellsWidth : GeneralSheet, CueListSheet の全セルの横幅を調整できます。

- ・ Select: 現在選択しているセルの幅を表示します。
- ・ Text: 全てを選択し、各行の一番長い文字か、基本幅にあわせませす。
- ・ All: 全てを選択し、指定した幅にあわせませす。

ZeroMask : GeneralSheetのData 0を空白にし、変化する数値を赤表示します。

ZeroSet : GeneralSheetに表示された空白を ゼロ表示します。

BackColor : 画面のベースカラーを変更します。

Black : General・CueData・CueList のベースカラーを黒色にします

Gray : General・CueData・CueList のベースカラーを灰色にします

Cream : General・CueData・CueList のベースカラーをクリーム色にします

Default : General・CueData・CueList のベースカラーを白色にします

NameList : CueData Sheetで左側にGeneralSheetのName(2列目)部分を表示します。

on : CueData Sheetの右側にGeneralSheetの2列を表示します

(Channel確認やマウスでChannel入力が可能となります)

Mouse(右クリック)で選択範囲のChannelをSetDataDlgのChannelに入力します

Shift + Mouse(右クリック)で選択範囲の中で奇数ChannelをSetDataDlgのChannelに入力

Ctrl + Mouse(右クリック)で選択範囲の中で偶数ChannelをSetDataDlgのChannelに入力

off : onで表示したListを消します。

Help :

Version Inf : Version 番号の案内です。

Made Inf of Data : JASCII ファイルなどに関する Data を表示します

- 1.Data を取り込んだ調光卓の会社名
- 2.調光卓の名称
- 3.使用している Channel 数

VersionUp (Data Change) : 今回の Versionup で CueList の Data 表示

位置が変更されました。その Data 部分の配置を修正します。



チャンネル入力方法(全て半角です)

- * 1を指定する: ChannelEditBoxに「1」を入力します。
- * 1から10まで指定する: ChannelEditBoxに「1-10」を入力します。
- * 1と4と11を指定する: ChannelEditBoxに「1+4+8+11」を入力します。
- * 2と5を除く全てを指定する: ChannelEditBoxに「2+5/」を入力します。
- * ChannelGrupで指定する: ChannelGroupの画面でChannelGrupを作成(必ず3文字数)します。

CG	Channel	Name
ss1	1+3+5+7	Boom1

ChannelEditBoxに、「ss1」を入力します。

レベル入力の方法(全て半角または小文字です)

- * 「3」か「30」をセットした場合、データは、30になります。
- * 「*」か「100」をセットした場合、データは FFになります。
- * 「-30」をセットした場合、データは、現在のデータ値から30をひきます。
- * 「+30」をセットした場合、データは、現在のデータ値から30を加えます。
- * 「30%」をセットした場合、データは、現在のデータ値に0.3を掛けます。
- * 「-30%」をセットした場合、データは、現在のデータ値から0.3分をひきます。
- * 「+30%」をセットした場合、データは、現在のデータ値から0.3分を加えます。
- * 「=30」をセットした場合、データは、Cue30の同じチャンネルのデータが入力されます。

Print機能

PrintSetDlgのUse_Only設定後、ColorPrinterで印刷した場合、変化する数値は赤印字になります。変化しない場合は黒印字です。

(Printerの機種により、思うように印刷できない場合があります。

EPSON-MJ-830 CanonWiter HP590(フォント=10)では、ある程度満足できる印字でした。

印刷のサンプル状況です

ComosTextEditor[C:¥Data¥Test.txt]	Page 1	01/04/06
		10:23:36
		ChannelCount: 256
Title1:		
Title2:		
Title3:		
Title4:		
Cue: 403	Time: 18/18w75	Memo: 2 f.i
		LinkCue:
P.No1	P.Fa40	P.De12
P.CH 29		
1/	2/	3/
11/0	12/50	15/FF

***** データ入力の方法 *****

- (1) 「データ入力の基本的な方法」
- (2) NemeList を使った Channel の指定と Data 入力方法
- (3) MagicSheet を利用した入力方法
- (4) Excel で Data 作成し CPJ に入力する方法
- (5) Part の入力方法と制約
- (6) TRACK 編集をする。
- (7) ASCIIFile を CPJ に変換する。